



Code of Conduct (行動規範)

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社

目次

1. 倫理的な意思決定
2. 個人の責任と問題提起の方法
 - (1) 個人の責任
 - (2) 匿名性と守秘義務
 - (3) 報復禁止に関する方針
 - (4) 不正行為の結果
3. 動物福祉の推進について
 - (1) 動物福祉
 - (2) バイオセキュリティと品質
4. 職場環境と期待
 - (1) 職場環境
 - (2) 安全で健康的、かつ薬物のない職場環境
 - (3) 利益相反
 - (4) 贈答品の授受
5. 政府との関わり方と運営方法
 - (1) 独占禁止法
 - (2) 腐敗防止及び贈収賄防止に関する法律
 - (3) 調査・訴訟・規制当局の検査への協力
 - (4) グローバルトレード
 - (5) 財務の健全性
 - (6) 業務記録・情報
 - (7) 機密情報および知的財産
 - (8) 個人情報の保護とセキュリティ
 - (9) 広報・ソーシャルメディア

1. 倫理的な意思決定について

私たちの行動規範は、あらゆる状況を想定することはできません。難しい倫理的な決断を迫られたときは、自分自身に問いかけてみてください。

- それは倫理的か？
- それは合法的か？
- この行動規範に合致しているか？
- 私たちの価値観と一致しているか？
- 私は正直で誠実であるか。
- 私の決断は、当社の誠実さに対する評判に良い影響を与えるか。
- 私の決断が、ニュースやソーシャルメディアを通じて、あるいは私が尊敬する人物に報告されても問題がないか。

自身の決断に不安がある場合は、以下に相談して指導を仰いで下さい。

- 直属の上司または所属部署のリーダー
- 人事総務部管理職
- コンプライアンス・ホットライン (JAX Listens)
 - Phone: 0800-500-9527
 - Web: <https://jax.ethicspoint.com/>

コンプライアンス・ホットライン (JAX Listens) は、当社のすべての従業員、ベンダー、および顧客が利用することができます。業務遂行にあたり、誠実な行動について疑問や懸念がある人は、匿名で報告できる「コンプライアンス・ホットライン (JAX Listens)」に連絡するなどして、疑問や懸念を表明することが奨励されます。

2. 個人の責任と問題提起の方法

(1) 個人の責任

当社で働くすべての人は、法律、会社の方針、行動規範を遵守する責任を負っています。また、従業員一人ひとりは、法律や会社の方針、行動規範に違反する、あるいはその疑いのある行為を上司、人事総務部、コンプライアンス・ホットラインに報告する責任があります。違反に気づいたら、必ず報告しなければなりません。

当社では、すべての報告が真剣に検討され、各従業員には、正直に、誠実に報告を行う責任があります。自分の報告に対して十分な注意が払われていないと思われる場合は、より高いレベルの管理職またはコンプライアンス・ホットラインに報告しなければなりません。

(2) 匿名性と守秘義務

コンプライアンス・ホットラインは、法律や会社の方針、行動規範に対する違反が判明した場合、またはその疑いがある場合に匿名で利用することができます。経営陣への報告であれ、コンプライアンス・ホットラインの利用であれ、私たちは、調査、是正措置、法的義務の履行という私たちの義務に則って、報告の秘密を守るためにあらゆる努力を払います。

（３）報復禁止に関する方針

会社は、違反の疑いについて誠実に報告し、または違反の疑いについての調査に誠実に協力した従業員に対するいかなる報復または脅迫も容認しません。

しかしながら、報告は正直かつ誠実に行われるべきであり、故意に虚偽の告発を行った従業員は懲戒処分の対象となることがあります。

（４）不正行為の結果

会社の方針や行動規範に従わない従業員は、解雇を含む懲戒処分の対象となることがあります。また、不正行為に適切に対処できない上司に対しても、懲戒処分を行うことがあります。また、調査に協力しない場合にも、解雇を含む懲戒処分の対象となることがあります。

３．動物福祉の推進について

（１）動物福祉

私たちは、飼育している動物の人道的・倫理的な扱いを徹底しています。

- ・ 飼育する動物の人道的・倫理的扱いに関する法律や各省庁が定める指針を遵守する。
- ・ 飼育する動物の人道的・倫理的取り扱いに関する研修を修了すること。
- ・ 動物実験の使用を削減、代替、改善するための手段の開発および採用を支援すること。
- ・ 飼育動物の扱い、誤用、虐待に関する懸念は、実験動物福祉規程に従い報告すること。また、コンプライアンス・ホットラインに報告することもできる。

（２）バイオセキュリティと品質

私たちは、飼育している動物の汚染を防ぎ、すべての行動において品質を浸透させることを約束します。

- ・ 衛生規程に従い、動物飼育施設を維持し、品質を確保する。
- ・ 保護服や保護具を使用し、汚染を予防するための積極的な行動をとる。
- ・ 品質に影響を及ぼす可能性のある行為を特定し、防止し、是正措置を講じる。
- ・ 懸念がある場合は、上司、施設担当者、またはコンプライアンス・ホットラインに報告する。

４．職場環境と期待

（１）職場環境

私たちは、インクルージョンと相互尊重の文化を通じて、多様な人材にコミットしています。

- ・ 当社の就業規則を遵守する。
- ・ 威圧的、敵対的、または秩序の無い職場環境を作り出すような行為に関与したり、それを助長したりしないこと。
- ・ 人種、肌の色、宗教、性別、性的指向、性自認、出身国、家系、年齢、障害、遺伝情報、婚姻歴、市民権、その他法律で保護されている状態に基づく差別を行わない。
- ・ プロ意識に欠ける、攻撃的、軽蔑的、いじめ、差別、嫌がらせとなるようなコメントや行為を阻止し、報告する。

（２）安全で健康的、かつ薬物のない職場環境

私たちは、安全な作業環境を維持する責任があります。職場における暴力は容認されません。

- 安全に関する懸念や、脅迫的、暴力的な言動は、速やかに報告する。
- 酩酊状態や違法薬物、規制薬物の影響下にある状態で業務を遂行しないこと。
- 違法薬物や規制薬物を所持、配布、販売、消費しない。

（３）利益相反

私たちは、当社にとっての最善の利益のために行動する責任を負っています。個人的な利益への期待が、当社にとっての最善の利益のために行動する判断に不適切な影響を与える可能性がある場合、またはそのように見える場合は、利益相反が生じる可能性があります。利益相反の可能性がある場合、適切な管理を行うために必要な情報が開示されなければなりません。

- 実際のまたは潜在的な利益相反をもたらす可能性のある社外活動、コンサルティング関係、金銭的利害を上司に開示する。
- 事前の書面による承認なしに、家族または個人的に密接な関係にある者と当社のために業務を遂行しない。
- 会社のリソースを個人的な利益や他人の利益のために利用しない。

（４）贈答品の授受

私たちは、会社の方針および適用される法律に従う限りにおいて、現在の取引先または取引先候補、サプライヤー、顧客、その他の関係者との間で贈答や接待を授受します。

- 贈答や接待は 受取人に不適切な影響を与えるために行われたり、受け取られたりしてはならない。
- 現金または現金に相当する贈答品を授受してはならない。
- 社会的およびビジネス的な慣習に沿った、合理的かつ互恵的な接待のみを授受する。
- 贈答品や接待の授受は、該当する地域で適切かつ合法である場合にのみ行う。

5. 政府との関わり方と運営方法

（１）独占禁止法

- 価格、戦略的計画、販売、生産、流通の条件、または製品、地域、市場、顧客の配分に関して、競合他社と議論したり、契約を結んだりしないこと。
- 顧客、サプライヤー、その他の競合他社に対するボイコットやその他の共同行動に関して、競合他社と話し合いを行わないこと。
- 競合他社に、または会社の方針に反して、専有情報または機密情報を開示しないこと。
- 独占禁止法に抵触する可能性のある活動に従事する前に、財務法務部に相談すること。

（２）腐敗防止および贈収賄防止に関する法律

私たちは、いかなる形でも賄賂を提供したり受け取ったりせず、政府関係者や民間人との交流において賄賂を禁止しています。

- 政府関係者や個人の行動に影響を与えたり、当社の利益を向上させるために、価値あるものを提供したり、申し出たり、約束したりしてはなりません。

- あらゆる支払い、利益、価値ある移転が、私たちの財務記録に正確に反映されるよう、適切な措置を講じる。
- ビジネス上の儀礼や贈答品の提供や受領が、現地の基準で名目上の価値であり、当社の方針に沿ったものであることを確認するために、適切な措置を講じる。
- 当社のために行動する第三者が、政府関係者とのやり取りを含め、当社の贈収賄防止ポリシーを遵守するよう、適切な措置を講じること。

（３）調査・訴訟・規制当局の検査への協力

私たちは、政府の検査や調査に協力し、民事訴訟に真摯に対応します。

- 政府の調査や民事訴訟、召喚状などの通知を受けた場合、直ちに財務法務部に報告し、対応についてその指示に従います。
- 規制当局の検査や要求に対しては、社内外の専門家と調整し、常に正確かつ迅速に情報を規制当局に提供する。

（４）グローバルトレード

私たちは、情報、技術データ、材料、物品および資金の輸出入および移転に関する法律、規制、制裁および制限を遵守します。

- 私たちが交流する国に関連する貿易法および制限を理解し、遵守すること。
- 法律で禁止されている制限的な貿易慣行やボイコットなどに協力しないこと。
- 税関職員や輸出入の円滑化に携わる者に提供する情報が真実かつ正確であることを保証するために、適切な措置を講じること。

（５）財務の健全性

財務情報の信頼性と正確性は、当社の評判と誠実さを維持するために非常に重要です。

- 記録の保持と財務報告について、適切な会計慣行に従うこと。
- 監査の準備中や実施中に、虚偽、誤解、不完全な情報を提供せず、監査人に協力する。
- すべての取引が正確かつ適切に記録されていることを確認するため、適切な措置を講じる。
- すべての旅費および交際費が、妥当であり、立証され、承認されていることを確認するために適切な措置を講じること。

（６）業務記録・情報

当社の業務記録の正確さと質は、当社の財務、規制、契約、および法的義務に直接影響します。

- データおよび記録管理ポリシーが自分の責任にどのように適用されるかを熟知していること。
- すべてのデータおよび記録を、適用される法律で指定された期間、保持する。
- 文書保存書を受け取った場合は、必要なデータや文書を保持するよう特別な注意を払う。
- 差し迫った、または進行中の調査、訴訟、照会に関連する記録を作成、隠蔽、改ざん、破棄してはならない。

（７）機密情報および知的財産

当社の最も価値ある資産の一部は、当社の知的財産と機密情報です。

- 当社に在籍中および在籍後も、当社の知的財産を特定し保護し、機密保持および非開示に関する方針を遵守すること。
- 第三者の知的財産権を侵害したり、第三者の機密情報を不正に使用・開示したりしてはなりません。
- 会社に帰属する発明を、発明開示請求の手続きにより開示すること。
- 会社に許可・承認された場合を除き、会社や顧客に関するいかなる情報もソーシャルメディアに投稿しないこと。

(8) 個人情報の保護とセキュリティ

私たちは、従業員、顧客、共同研究者、研究対象者、および科学界の人々の信頼を維持するために、機密の個人情報を保護します。

- 正当な事業目的とアクセス権限がない限り、他人の個人情報を収集、使用、アクセスすることを避ける。
- 適用される個人情報保護法および規制を遵守する。
- 個人情報は、会社の方針および適用される法律に従って、適切に保護されるようにする。
- 機密情報は、会社のポリシーに従い、適切な保護措置を講じた上で、正当な必要性のある第三者に対してのみ開示する。
- 個人情報の紛失や不正な開示の可能性がある場合は、直ちに情報セキュリティ統括責任者またはコンプライアンス・ホットラインに報告する。
- 個人情報を求めるフィッシング詐欺や不正行為に気づいたら、速やかに情報セキュリティ統括責任者に報告する。

(9) 広報・ソーシャルメディア

私たちは、メディアや一般の方々に正確で信頼できる情報を提供することを約束しません。

- メディアからの問い合わせには直接答えず、リーダーシップチームに報告して指示を仰いでください。
- 適切な承認なしに、会社に関するいかなる情報も外部に提供しない。
- 会社を代表してソーシャルメディア活動を行う場合は、リーダーシップチームから承認を受ける。
- 個人的なソーシャルメディア活動は、会社を代表しての行動ではなく個人的なものであることを明確にする。

当社の成功と評判は、会社コミュニティ全体の誠実さにかかっています。したがって、従業員、共同研究者、請負業者は、法律や当社の方針、行動規範を遵守しなければならず、実際の違反やその疑いがある場合は報告する必要があります。質問がある場合、判断に迷う場合、または実際の違反やその疑いを報告する必要がある場合は、上司に相談するか、人事総務部またはコンプライアンス・ホットラインに連絡してください。